平成２６年９月２日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園
園長　加藤　錦司

園長だより　「えがお」　ＮＯ５

『カレーライスがおいしいね』

２園期が始まり、真っ黒に日焼けした顔と元気いっぱいな歓声が、幼稚園に戻ってきました。

この４０日間、子ども達は、家族や地域の皆さんの温かい愛情に包まれ、思い出いっぱいの夏休みを送ることができたことと思います。７月２８日の「なかよし保育」には、ほとんどの年長さんが参加してくれました。ボディーペインティングで裸になって遊びたわむれる姿は、とても楽しそうでした。また、カレーライスを食べ、友達との久しぶりの再会を喜んでいるようでした。夜のキャンプファイヤーと花火も、その美しさと響きに感激の声を発していました。

８月の後半には、「夏期保育」を行いましたが、このことが子ども達の２園期の生活をスムーズにスタートさせました。２園期には、秋の「大運動会」や「遠足」を始め、「遊戯会」や「クリスマス会」、「いもほり」などの楽しい行事、保育参観、火災を想定しての避難訓練、年長さんの大和ホーム慰問など、様々な行事を予定しております。

夏休み中にいろいろな体験を通して培った財産を「かて」に、さらに社会性や協調性、忍耐力を子ども達に身につけさせたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

「躾（しつけ）」

子どもを躾るときのポイントは、「褒めること」と「繰り返し行わせること」です。

保護者の皆さんは、お子さんに「いい子だね。幼稚園の持ち物はそろえられましたね。」と、褒めながら躾られていることと思います。さらに、「あなたはよい子だから、きっとそろえられるよね」と、子どもの自主性にも語りかけられていると思います。

子ども達は、大好きなお母さんの期待に応えようと頑張ります。また、褒められたことによって、脳の中のホルモンが分泌され、繰り返し頑張れるようになります。さらに、繰り返し行うことによって、脳の細胞がネットワークをつくり、持ち物を準備しようとする行動のパターンができあがります。

そのうちに、持ち物を準備しないと気持ちが落ち着かなくなります。よく、「体が覚えた」などと言いますが、できたことが自信になり、自分から努力するようになります。

「新しい幼稚園バスが入りました」

８月より４台あるうちの１台が新しいバスに替わりました。大切な園児の皆さんを安全に送迎するための装置も新しく搭載しました。緑コースと白コースの子どもたちを送迎します。